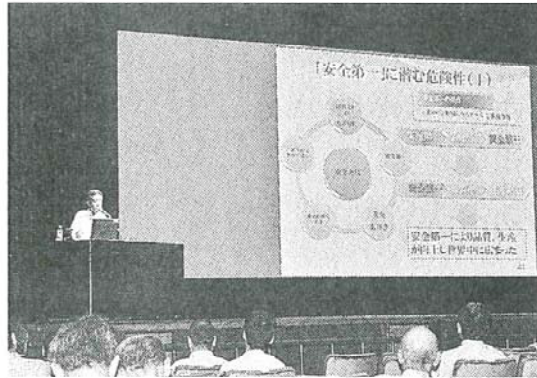


九建日報

3面掲載

協和建設谷口社長が講演 北九州市 現場責任者安全研修会



【北九州】今回で3回目となる工事現場責任者の安全研修会を30日、北九州市の若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区の

4区合同で、各まちづくり整備課発注の工事を受注した施工業者を対象に、市内の八幡市民会館大ホールで開催した。写真。

同研修会は、現場における労働災害防止を更に徹底するため、特に軽微な公共工事を受注した現場責任者を対象に実施しているもので、現場責任者約300人が参加し、

講師・谷口正晴氏(協和建設(株)代表取締役)の労働災害防止についての講演を受講した。

開会挨拶で市は「労働災害は、発注者、受注者に関係なく不利益をもたらす。この研修会を契機に、公共工事、又その他の工事でも、労働災害防止の意識を高め、安全対策への取り組みを一層推進してほしい」と呼びかけた。

谷口正晴氏は講演で、危険予知活動(KY活動)及びヒヤリハット活動を漫画による「見える化」で分かりやすく全員が取り組みやすい安全活動を実行することで、安全第一ありきを萎縮させることなく労働災害を防ぐことが可能になると、パワーポイントを使い説明、参加者は真剣に興味深く聞いた。